

令和3年第4回江田島市公共交通協議会（令和3年12月27日）

協議会議事要点録

会議名	令和3年度 第4回江田島市公共交通協議会			
日時	令和3年12月27日（火）13時30分～15時30分			
場所	能美市民センター1階多目的ホール			
傍聴者	1名			
出席者	広島商船高等専門学校	教授【議長】	岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	大濱 博明	代理出席 種村 隆
	江田島バス株式会社	従業員代表	畠藤 秀樹	○
	広島県旅客船協会	会長	仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	谷口 実	○
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	小跡 孝廣	代理出席 濱谷 一眞
	江田島市老人クラブ連合会	会長	古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	堂野崎 平	○
	江田島市女性会連合会	会長	宇根 民子	○
	江田島市観光協会	会長	伊藤 富美雄	○
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	今岡 俊之	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	石田 剛史	○
	広島県	交通対策担当課長	藤井 剛	代理出席 柴田 益良
	江田島警察署	地域交通課長	桑田 光太郎	○
	江田島市	副市長【会長】	土手 三生	○
	江田島市	企画部長	奥田 修三	欠席
江田島市	土木建築部長	水頭 顕治	○	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会長	土手会長あいさつ			
3 議 題				

(1) 報告事項	
ア 江田島市運航継続支援金について（資料1）	
議 長	それでは、議題の報告事項に入ります。 まずは、「江田島市運航継続支援金」につきまして、事務局から報告をお願いします。
事 務 局	－資料1により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
委 員	運休中の秋月～呉航路は廃止になるのか、再開する見通しはあるのか。
事 務 局	あくまでも運休中であり、事業者からは廃止する意向はないと聞いている。
議 長	ありがとうございました。他に御質問等ありますか。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	それでは、協議事項に移らせていただきます。
(2) 協議事項	
ア 江田島市乗合タクシー運行業務委託について（資料2-1, 2-2）	
議 長	それでは資料2について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	－資料2により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
各 委 員	（質問・意見等なし）
議 長	それでは、「江田島市乗合タクシー運行業務委託について」は、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。
各 委 員	（質問・意見等なし）
イ 江田島市地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について（資料3）	
議 長	それでは資料3について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	－資料3により説明－
議 長	ただいま事務局から説明がありました。御質問、御意見はありますか。
委 員	以前も意見を出した通り、江田島北部朝夕便は毎日運行、沖美南部線は月～土運行なのに対し、沖美北部線は月・水・金の週3日運行となっている。沖美北部線についても、毎日運行にしてほしいと住民から要望が出ている。 また、予約制なもの利便性が悪い。三高は路線バスも少ない。観光客が船で三高棧橋に到着後、移動手段が無く、足止めされてぼーっと立っている時がある。おれんじ号は予約制だから、観光客には使いづらいように思う。観光客が利用しやすい形態になればいいと思う。
事 務 局	1点目の運行曜日について。沖美南部線は毎日運行しており、三高棧橋から右回りするか左回りするかの違いだけで、全く足が無いというわけではない。運行曜日を増やす場合、その分経費がかかる。運行曜日を増やす場合、前提として、経費に

令和3年第4回江田島市公共交通協議会（令和3年12月27日）

	<p>見合った収益が得られる必要がある。住民の移動ニーズが充足されておらず、もし毎日運行すればこれくらい人が乗るだろうという見込みがあれば、改めてご相談をいただいた上で検討する。</p> <p>2点目の予約制について。おれんじ号を運行している地域は、元々路線バスの利用が少ない地域。空の運行を極力避けるために予約制にしており、予約なしにする場合、それは路線バスといった別の形の交通モードになる。観光客の方にも、予約さえしていただければ乗っていただいて構わないので、そういう声を直接聞く機会があれば、皆様にもご案内をしていただければと思う。市としても、おれんじ号の運航形態や、予約さえすれば誰でも利用してもらえる点を、しっかりPRしていければと考えている。</p>
委員	<p>通院や買い物等、移動手段に困っている住民がいるのは事実であり、毎日の運行を望む意見があるのは知っておいてほしい。観光客に対してもPRが足りないと思う。他県から来られて三高栈橋で置き去りにされている観光客がいることがある。代替になるような交通機関があればいい。予約制についてしっかりPRしてもらえばいいが、実際は難しいと思う。何らかの方法を考えないと、せつかく足を運んでくれた方に二度と来てもらえなくなる。</p> <p>また、沖美南部線に乗車するとなると、40～50分かかる。ぐるぐると西能美回る運行等、いろんなやり方を検討する必要があると思う。</p>
委員	<p>沖美南部線を運行している事業者として、予約制について1点申し上げたい。</p> <p>三高栈橋から観光目的で利用される方もたまに見られる。そういった方は、江田島市のHPを見て、前日に問合せがある。おれんじ号はワンボックスで乗車定員が限られている。予約が多く定員オーバーになるときは、別途追走車を用意することとなっている。運行する立場としては、現在の予約制度がベストな状態と考えている。一番困るのは、団体が来て6～8人利用された場合、定員オーバーで地元の人が乗れなくなる。追走は可能のため、予約制だけはやめないでほしい。</p>
委員	<p>貴重な意見をいただけてありがたい。せつかく来ていただいた観光客の方に、そのような気持ちで帰られてしまうのは非常に寂しい。色々な形で情報交換しながら改善していきたい。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、何か御質問あるいは御意見がありましたら、お願いします。</p>
各委員	<p>（質問・意見等なし）</p>
議長	<p>それでは、「江田島市乗合タクシー運行業務委託について」は、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。</p>
各委員	<p>（質問・意見等なし）</p>
<p>ウ 江田島市地域公共交通計画（たたき台）について（資料4）</p>	
<p>エ 江田島市地域公共交通計画の作成状況に関する事業評価について（資料5）</p>	
議長	<p>続いて、協議事項のウ「江田島市地域公共交通計画（たたき台）」及びエ「江田島市地域公共交通計画の作成状況に関する事業評価」につきましては、関連した事項となりますので、事務局から一括して説明をお願いします。</p>
事務局	<p>－資料4，5により説明－</p>

令和3年第4回江田島市公共交通協議会（令和3年12月27日）

議 長	<p>ただいま、事務局から説明がありました。</p> <p>交通計画について、交通の現状や交通事業者等に対してヒアリング調査を行い、現状と問題点を整理し、現在、具体的な計画方針を検討しているとのことでした。何か御質問あるいは御意見がありましたら、お願いします。</p>
委 員	<p>西回りの航路は公設民営となって5年経つ。人口減少に伴い、年2%ずつ利用者が減る想定だったが、コロナの影響もありふたを開けてみれば、一度に10年分の2割3割減少し、ここから先、5年10年をどうしていくかが重要である。今の寄港地、便数、運賃を維持するのは各社困難となっている。利用者の利便性を損なうことなくいかに維持するか。他市との交流を盛んにしていくなど、需要の掘り起こしが重要となる。最近ではSDGsの観点が重要になっており、二酸化炭素の排出削減をメーカーだけでなく、地域でもやらなければならなくなっている。船を使うのは、二酸化炭素の排出削減に有効な手段になる。早瀬大橋を利用して車で行くよりも、フェリーに乗ることで、二酸化炭素を減らすことができることを大いにPRしていき、航路を使ってもらえるきっかけになればと思う。</p> <p>最近では、インターネットで広島県内の運動公園や野球場等、公共施設の利用予約ができる。広島市内の施設は抽選をするほど予約がいっぱいであり、広島市の人にも積極的に江田島市の公共施設を予約できるようにして、開放することで交流を盛んにできないか。</p> <p>他にも、現在はキャンプが流行している、江田島市は広島市内から一番近いキャンプ場であることから、観光をひっくるめてしっかりPRできればと思う。何時の船に乗って、このおれんじ号に乗れば丁度いい、というような売り出し方ができれば理想である。</p> <p>将来的に、航路の再々再編は避けられない。今日差し替えていただいたp24のとおり、無駄になっている便が多く存在している。航路を減便したとしても、陸上交通との接続を改善することにより、利便性を今までよりも高められるような方向で、協議を進めていけるようお願いできればと思う。</p>
委 員	<p>KPIとして、海上交通に対する陸上交通の接続率を、現状値38%よりも改善するため、覚書遵守と、バス路線網を再編するとある。覚書の中に、具体的な対策が入っているのか。航路との接続改善やバス路線網の再編とは、具体的にどういった取り組みを考えているのか。</p>
事 務 局	<p>覚書は、航路もしくは陸上交通がダイヤ改正する場合、2か月前に一旦市に情報提供していただき、ダイヤ調整を図るという内容のもの。バス路線再編は、モードの接続を改善させる目的と、少しでも住民のニーズや需要を拾えるよう、路線再編をしていきたいと考えている。</p>
委 員	<p>広島型Maas推進事業で、デジタル技術を活用した取組を支援する制度もあるため、ダイヤの連携等をアナログではなく、デジタル的にプログラムを組んで実施するという方法もあるので、制度を含め県の方からも関わっていければと思う。</p>
委 員	<p>p10の江田島市の総観光客の交通機関別割合のグラフについて、令和2年はコロナの影響で公共交通が敬遠された影響で、自家用車の割合が増えていると思われる。路線バスの割合が減少しているのは分かるが、観光客が減っている中、船舶の割合の8%が14%に上昇している理由は分かるか。</p>

令和3年第4回江田島市公共交通協議会（令和3年12月27日）

事務局	<p>パーセントで見ているため、取り方が難しいというのが正直なところではあるが、p 9の江田島市の観光客数の推移のグラフの通り、R 2年度は著しく減少している。観光客数がそもそも大きく変動しているため、何らかの要因があって、船舶利用が増えたということとは少し違うと考えている。</p>
委員	<p>p 10の江田島市の総観光客の交通機関別割合のグラフで、バスと回答している人は、バスで江田島市に来ている、という意味か。バスで江田島市に来れるのか。</p>
事務局	<p>市外からの観光客だけでなく、市内の観光客も含まれている。船とバスを併用している場合も含まれている。</p>
委員	<p>p 36の公共交通等の移動手段確保に係る行政負担額について、船の補助が多いのかと思っていたが、船よりもバスの行政負担額が多いことに驚いた。利用者が少ない割に、バスだけで1億円近くある。三高も便数が少ないものの路線バスが運行しているが、ほとんど乗っていない。現在中型バスも走っているが、コスト低減のためにもう少し小さい車両でもいいのではないか。グリーンバスのような10人乗りくらいの小さいバスで、栈橋と栈橋、病院やスーパーをグルグル回るようなバスの運行ができないか。1つの意見として。</p>
委員	<p>貴重な意見を賜った。朝夕の通勤通学時は（特に小用方面）積み残しの無いよう利用者数に合わせた車両としており、大きい車両となっている。例えば、朝夕は大きい車両、昼は小さい車両にした場合、コストパフォーマンスが下がってしまう。縮小しすぎるとバス事業自体が成り立たないこともあり、たくさんの人に乗っていただきたいとともに、快適に乗っていただきたく、ある程度の大きさが必要となると思う。ご理解賜れば。</p>
議長	<p>全国的にもよくあることだが、朝夕の通勤通学客が増えれば増えるほど、大きな車両が必要となり、赤字額が増えてしまう現象といえる。</p> <p>また、時刻表作成等の際には、高齢者の方がよく手に取られるものだと思うので、住民の方とコミュニケーションをとっていただき、フォントの大きさ、色合いの付け方といった読みやすさに配慮する等、議論されたいと思う。</p>
オブザーバー	<p>計画の概要版に、「航路網の将来イメージに関する事業者との協議」とある。</p> <p>令和8年までに状況がどう変化するか分からないが、人口減少対策、気候変動対策は今後避けて通れない。海上交通もいろんな研究が進んでいる。脱炭素に向けて、どのようにシフトしていくか、東京の海上技術安全研究所で研究がなされている。島嶼部における旅客船について、今後有効に使えるのがEV船（蓄電池船）である。短距離であれば可能であると言われている。修繕費が格段にコストダウンできる。また、機関士がいらない。初期投資はかかるが、コストダウンの要素が多い。</p> <p>その他にも、磁力で離着岸が可能なため、綱取り無しで自動的に接岸できる技術や、自動運転技術の事例もある。ぜひそう言った視点も射程に入れて議論をしていけたらと思う。</p> <p>バスの関係では、以前も議論に挙げたかもしれないが、バスフロート船がある。小用～紙屋町行きといった、バス路線の新設といったこともできると思う。高齢者にとっては究極のバリアフリーでもあると思うので、参考にして頂ければ。</p>

令和3年第4回江田島市公共交通協議会（令和3年12月27日）

委員	資料5について。陸上交通関係の計画をつくるような見え方になっているが、航路維持や接続改善に関する方向性も記載してもらえたらと思う。
事務局	資料5について、指摘のとおり修正する。 また、交通計画（たたき台）について、すぐには意見が出ないかもしれないが、気付いた点や御意見等があるようであれば、1月7日（金）までにお知らせいただきたい。
議長	最後に、「その他」の事項でありますか、何か御意見・御質問等がありますか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	事務局から、「その他」ありますか。
事務局	事務局から事務連絡が1点あります。本日交通計画のたたき台を示させていただきましたが、次回の協議会にて、修正した計画書について議論いただきたいと考えております。 令和3年度5回目の公共交通協議会については、来年の2月1日（火）に開催したいと考えています。時間や場所についてはまた後日案内するため、御出席いただきますようよろしくお願いいたします。
議長	その他、ございませんでしょうか。ないようでございます。
6 閉会	
議長	それでは、以上をもちまして、本日の協議会を閉じさせていただきます。誠にありがとうございました。